

福祉施設のクッキー 松本理事長ら販売

NPO草津 宿場まつり出店、裏方も

草津市内の建設に関わる「O法人草津市内業者会」事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会（略称NPO）」（理事長・松本浩治（株）津田工務店滋賀代表取締役）が協賛する「第44回・草津宿場まつり〜東海道・中山道出合い街〜」が去る4月29日、草津



販売店を訪れた（右から）橋川草津市長とたび丸を迎える（左から）NPO草津の辻副理事長、事務局の湊さん

市で開催され、時代行列など名物の催しに多くの人が訪れた。

「草津宿場まつり」は、東海道・中山道の分岐点である宿場町として栄え、現在も旧草津川や草津宿本陣などの数多くの名所が残る草津市の歴史と伝統にもとづき、市民が創りあげるまつりとして毎年開催されている。草津の街道を舞台に市民参加で展開する華やかな時代行列や、旧草津川の「天井川会場」など各所に設けられた特設ステージでの様々な参加者によるパフォーマンス、多くの出店などで賑わう。

NPO草津では設立以

「上から」華やかな時代行列が到着し、口上を述べる「篤姫」（上段中央）、NPO草津のクッキー販売店（左は松本理事長）



来、地域に根差した幅広い活動の一環として宿場まつりへの協賛を行っているが、今回は主催者側からの要請を受けまつりへのさらなる協力を決め、協賛に加

えて市内の福祉施設で作られたクッキーなどの販売店を出店したほか、役員・会員企業から約20名を動員し会場周辺の警備や交通整理、ステージの機材搬入出

などの裏方作業を担った。天井川会場の出店ブースでは、市内の福祉施設「さらら」「シエスタ」「若竹」で作られNPO草津が買い上げたクッキーやラングドジャ、キャラメルラスク等を松本理事長やスタッフが販売にあたった。多くの観光客などが立ち寄り、試食すると次々に売れ、一日で7割以上を売り上げた。販売店には草津市の橋川渉市長やシンボルキャラクターの「たび丸」も訪れたほか、「和宮様」「島津公」「篤姫」などに扮した時代行列が会場に登場し口上を述べるなど、ますますの賑わいを見せた。